

## だい か 第1課「アブラハムの始まり」

### そうせいき しょう せつ 創世記12章 1-3節

01主はアブラムに言われた。「あなたは、あなたの土地、あなたの親族、あなたの父の家を離れて、わたしが示す地へ行きなさい。

02 そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとする。あなたは祝福となりなさい。

03 わたしは、あなたを祝福する者を祝福し、あなたを呪う者をのろう。地のすべての部族は、あなたによって祝福される。」

### <アブラハムは聖書で重要な人物>

そうせいき おお ふた ぶぶん わ  
創世記は、大きく二つの部分で分けると、

#### ・ 1～11章（原初史）

1章から 11章までは原初史（原歴史、太古史）とも言いますが、天地創造と、そしてアダム、セツ、エノク、ノアを通して、神様の救いがどのように臨むのかを説明しています。

#### ・ 12～50章（救済史）（救いの歴史）

12章から 50章の終わりまでは、アブラハム、イサク、ヤコブを中心に、創世前に定められた神様の民として選ばれた者が、どのように召されて救われるのか、また、信仰が何であるかを説明しています。

原初史は 11章で記録されていますが、アブラハムの生き様と人生の旅程は 14章にかけて記録されています。新旧約全体にかけて、400回以上アブラハムという名前が言及されています。イエス様もアブラハムをいつも言及されるほど、大きい比重を占める人物です。それだけ重要なので、アブラハムについて正しく理解する必要があります。

### <アブラハムの人生>

がつ だいいちしゅう だいさんしゅう ないよう  
2月の第一週から第三週までは、このアブラハムについての内容です。

きょう はじ  
今日は「アブラハムの始まり」ということが何を意味するのかを見ていきましょう。

アブラハムの人生の中には、イエス・キリストの十字架によって救われることになる神様の民に向かった父なる神様の愛、あわれみ、忍耐、赦し、そして、恵みの内容が入っています。

（前にされた働き人のメッセージでも、そのようなことが言及されていましたが、結局、神様の私たちに對する神様の心です。）そのすべてがアブラハムの人生の中に入っているということです。

## <アブラハムの始まり = イエス・キリストによる救済史の始まり>

イエス・キリストによる救いの完成を主題としているのが新約でしょう。それゆえ、福音書4つから始まっています。しかし、その新約の始まりであるマタイの福音書が救いの始まりではありません。創世記12章から、その救いの歴史が始まったのです。ですから、創世記12章から救済史が始まるということです。ですから、救済史全体をおいて見れば、新約のイエス・キリストと、その方によって完成される教会、すなわち、私たちはアブラハムから出発するということです。

それゆえ、マタイ1章1節は「アブラハムの子、ダビデの子、イエス・キリストの系図。」となっています。つまり、アブラハムの始まりということは、イエス・キリストによる救済史の始まりだと言うことができます。

## <アブラハム = すべての信徒の代表>

二つ目は、イエス・キリストの十字架の贖いの恵みによって救われた神様の民の出発であり始まりであるアブラハムは、すべての信徒の代表です。

もう一度言いますと、イエス・キリストの十字架の贖いの恵みによって、救われた神様の民たちの出発となった始まりであるアブラハムは、すべての信徒の代表でもあるということです。難しく話したのですが、それを簡単に言うと、**アブラハムは信仰の先祖（信仰の父）**だということです。

そこに対するみことばは、**ガラテヤ3:6-7**のみことばです。

06「アブラハムは神を信じた。それで、それが彼の義と認められた」とあるとおりです。

07 ですから、信仰によって生きる人々こそアブラハムの子である、と知りなさい。

これと似た内容のみことばが**ローマ4:23-24**にも記録されています。

23 しかし、「彼には、それが義と認められた」と書かれたのは、ただ彼のためだけでなく、

24 **私たちのためでもあります。**すなわち、私たちの主イエスを死者の中からよみがえらせた方を信じる私たちも、義と認められるのです。

私たちがみんな、信仰によってアブラハムの子孫、アブラハムの子になったと話しています。一番最初に呼ばれ、その信仰によって義と認められたアブラハムと同じように、私たちも義と認められるという内容です。

神様がアブラハムの子孫を空の星のように、海の砂のように大いに増やすと言われましたが、はたして、その人々はだれでしょうか。それが、イエス・キリストを信じる者たち、私と皆さんのことです。

引き続きガラテヤ3章を見てみましょう。

### ガラテヤ3:8-9

08聖書は、神が異邦人を信仰によって義とお認めになることを前から知っていたので、アブラハムに対して、「すべての異邦人が、あなたによって祝福される」と、前もって福音を告げました。

09 ですから、信仰によって生きる人々が、信仰の人アブラハムとともに祝福を受けるのです。

### <祝福の内容>

アブラハムに先に福音を伝えられたと言われています。神様がアブラハムに与えられたすべての祝福は、すべての信じる者に与えられる祝福だということです。それなら、その祝福の内容は何でしょうか。ますます具体的に語っています。

### ガラテヤ3:13-14

13 キリストは、ご自分が私たちのためにのろわれた者となることで、私たちを律法ののろいから贖い出してくださいました。「木にかけられたものはみな、のろわれている」と書いてあるからです。

14 それは、アブラハムへの祝福がキリスト・イエスによって異邦人に及び、私たちが信仰によって約束の御霊を受けるようになるためでした。

アブラハムが受けた祝福は、イエス・キリストの十字架を通した罪の赦し、すなわち救いを言うことでしょう。そして、14節の終わりに言われているように、救われた者の中に臨まれる約束の聖霊を言うのです。

16節では、このすべての内容を一言で整理をしてくださっています。

### ガラテヤ3:16

16約束は、アブラハムとその子孫に上げられました。神は、「子孫たちに」と言って多数を指すことなく、一人を指して「あなたの子孫に」と言っておられます。それはキリストのことです。

ですのでアブラハムは代表の原理で、すべての信じる者の代表になったのです。ところで、そのアブラハムに約束した子孫は、結局、いろいろな子孫を話すではありません。イエス・キリストを言っていると結論を結んでいます。イエス・キリストによって、アブラハムも祝福を受けた者になりました。そのアブラハムとともに、すべての信じる者も、キリストという祝福を受けるようになったのです。このように、神様の民を代表するアブラハムは、私たちが経験することになる召命（呼ばれたこと）、そして、私たちが歩んで行く救いの旅程を生き様を通して見せるモデルだったです。

働き人メッセージでも話されましたが、聖書の人物は、私たちがモデルとして祝福されるべきだということではなく、彼らの生き様を通して、神様がどのように働かれるのか、また、キリストがどのように表現されて現れるのかを見なければならぬのです。絶対不可能な者に、絶対可能な神様が訪ねて来られて、キリストという祝福を与えてくださったのです。それゆえ、その中でキリストだけを皆さんが発見するように願います。

ここまでのみことばを覚えて、一度に理解できないでしょうが、今日の本文をもう一度見ましょう。  
聖書の中に出てくるアブラハムという名前に、皆さん自身の名前を入れて読んでみましょう。

(創世記12章 1-3節)

主は(皆さんの名前)に言われた。「あなたは、あなたの土地、あなたの親族、あなたの父の家を離れて、  
わたしが示す地へ行きなさい。そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あ  
なたの名を大いなるものとする。あなたは祝福となりなさい。わたしは、あなたを祝福する者を祝福  
し、あなたを呪う者をのろう。地のすべての部族は、あなたによって祝福される。」

今日この本文の3節のみことばを特に誤解してはいけません。アブラハムに先に与えられた福音、イエ  
ス・キリストの十字架のその福音に同意する者は祝福を受け、その福音に同意しない者は呪いを受ける  
ということです。イエス様も同じ話をされたでしょう。マタイ 16章 19節に「わたしはあなたに天の御国  
の鍵を与えます。あなたが地上でつなぐことは天においてもつなぐれ、あなたが地上で解くことは天にお  
いても解かれます。」と言われました。

アブラハムに与えられたその約束、その祝福、それがイエス・キリストを通して、また、私たちに確  
実に伝えられるのです。キリストという祝福を受けた皆さん、キリストの福音を伝える証人として用  
いられるように祝福します。